



(別添)

2021年8月26日
NITE(ナイト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構
中国支所

News Release

自然災害時にまさかの製品事故！？ ～停電時のCO中毒にも注意！～

—中国5県版—

1. 非常備品に関する事故発生状況

NITE(ナイト)に通知された製品事故情報^{※1}では、非常備品に関する事故^{※2}は、中国地方5県(鳥取県、島根県、岡山県、広島県及び山口県)では2013年度から2018年度までの6年間に5件^{※3}ありました。

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報(被害なし)を含む。

(※2) 携帯発電機、ポータブル電源、カセットこんろなど。

(※3) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

(1) 中国5県の年度別 事故発生件数

表1に「年度別・県別」非常備品に関する事故発生件数を示します。

表1 「年度別・県別」非常備品に関する事故発生件数

年度	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
2013年度			1		1	2
2014年度						0
2015年度	1					1
2016年度						0
2017年度			1			1
2018年度	1					1
合計	2	0	2	0	1	5

(2) 中国5県の被害状況別 事故発生件数

表2に「被害状況別・県別」非常備品に関する事故発生件数を示します。

表2 「被害状況別・県別」非常備品に関する事故発生件数

被害状況※4		鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
人的被害	死亡			1			1
	重傷	2					2
	軽傷						0
物的被害	拡大被害			1			1
	製品破損					1	1
被害なし							0
合計		2	0	2	0	1	5

(※4) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

(3) 中国5県の事故原因区分別 事故発生件数

表3に「事故原因区分別・県別」非常備品に関する事故発生件数を示します。

表3 「事故原因区分別・県別」非常備品に関する事故発生件数

事故原因区分	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
A：設計、製造又は表示等に問題があったもの						0
B：製品及び使い方に問題があったもの						0
C：経年劣化によるもの						0
G3：製品起因であるが、その原因が不明のもの						0
D：施工、修理、又は輸送等に問題があったもの						0
E：誤使用や不注意によるもの	2		1		1	4
F：その他製品に起因しないもの			1			1
G：原因不明のもの（G3を除く）						0
H：調査中のもの						0
合計	2	0	2	0	1	5

2. 事故事例の概要について

中国5県で発生した、非常備品の主な事例を示します。

○電池の液漏れや端子の腐食等により発生した事故。

2013年12月（山口県、60歳代・性別不明、製品破損）

【事故の内容】

ランタンの電池を入れ替えたところ、火花が出た。

【事故の原因】

電池ホルダーの端子金具及び使用電池に腐食が発生していることから、最初に使用した付属電池から漏れた電解液が電池ホルダー端子に付着したまま、使用者が気付かずに電池交換を行ったため、電池2本が短絡して火花が発生したものと推定される。

○携帯発電機を使用中、使用上の不注意や換気不足により一酸化炭素中毒が起こった事故。

2017年8月（岡山県、70歳代・男性、死亡等）

【事故の内容】

船の甲板で携帯発電機を使用中、一酸化炭素中毒で1名が死亡、1名が軽症を負った。

【事故の原因】

携帯発電機を操だ室の扉下部付近に排気口が向いた状態で設置されていたことから、運転時の排気ガスが扉下部の隙間から操だ室に侵入し、乗組員が排気ガス中に含まれる一酸化炭素により中毒に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。

3. 非常備品の実験映像について

非常備品に関連する実験映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE のロゴ」としてください。

(本件に関するお問い合わせ先)

〒730-0012 広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎3号館
独立行政法人製品評価技術基盤機構 中国支所
担当者：東瀬、折田
電話：082-211-0411

以上